

令和4年度

生駒市教育委員会主催 夏期研修会のまとめ

令和4年9月

令和4年度

生駒市教育委員会主催
夏期研修会

各研修会参加者アンケート

令和4年度生駒市教委等主催夏期研修一覧

研修会名	内 容	対象者	期 日	人数
生 駒 市 教 育 研 修 会	学校と社会、今と未来をつなぐ授業の作り方	小中教職員	8月2日 (火)	215
生駒市熱中症 予防対策研修会	子どもの暑熱反応特性と熱中症予防策	保幼小中 教職員 保護者	8月16日 (火)	226
特別支援教育 コーディネー ター研修会	奈良西養護学校見学	幼小中特 別支援 コーディ ネーター	8月9日 (火)	中止
小学校外国語 授業づくり研修	言語活動を中心とした授業づくりについて	小学校教 員	7月27日 (水)	23
生駒市英語 小中連携会議	令和4年度英語教育小中連携計画について	小中教職 員	7月27日 (水)	27

生駒市教育研修会 実績報告書

【日時】令和4年8月2日(火) 14:00~16:00

【場所】生駒市北コミュニティセンター はばたきホール

【講師】生駒市キャリア教育プランナー 尾崎 えり子 氏

【参加者】215名(小学校 171名、中学校 44名)

【テーマ】学校と社会、今と未来をつなぐ授業の作り方

【ねらい】・新学習指導要領の改訂の中で、「主体的・対話的で深い学び」と「情報活用能力」が求められている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と授業の中でのICT活用能力を推進するために理解と見識を深める。

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について(126件)

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4あまり良くない	5 良くない
	39.7%	52.4%	7.1%	0.8%	0%

◆ 主なご意見

- ・キャリア教育の新しい方法を見させていただいて学ぶことができた。
- ・学校スタッフにはない感覚、視点を味わえて、とても新鮮だった。どんどん変わっていきける人の強みを感じた。
- ・日々の忙しさの中、子どもたちをワクワクさせることができない日が多いです。たくさんの取り組みに刺激を受けました。
- ・なかなかタブレットを活用できていなかったのが、活用のヒントになった。自分達だけでは、色々な事をしたくても、たくさんの方々と繋がって授業をつくる時間もアイデアも難しい面が多いので、この二つを引き受けていただけるのは、とてもありがたいので、これから挑戦していきたいと思う気持ちが高まった。
- ・具体的な実践の内容と、現場の教師の声(対談)が聞いてイメージが湧いたのがとてもよかった。
- ・これまでの取組を具体的な例を示しながら説明されていたので、「自分の学校で取り組むとしたら・・・」と考えながら聞くことができ、とても分かりやすかったです。魅力的な取組ばかりでした。
- ・かつてアナログで取り組んでいたことがタブレットを使うことでもっと広い世界と繋がる可能性があることに改めて認識させていただきました。

2. 本日の研修は、授業実践や生活の中で役に立ちますか。(126件)

	1 とても役に立つ	2 役に立つ	3 あまり役に立たない	4 役に立たない	5 分からない
	27%	57.9%	4%	0.8%	10.3%

◆ 主なご意見

- ・ICTの新しい活用方法を知ることができました。
- ・教科の取組みでも、ちょっと使えるようなアイデアをもらいました。
- ・日々の授業に関連したものが多く、授業にすぐに活用したいと思えるものが多かった。
- ・職業体験の新しい形などはとても興味深かったのでまた自分の学年が職業体験の時期になったらまた参考にしたいと思います。
- ・こういうやり方があるんだな、学校だけでやろうとせず、その方面のプロに相談したり、協力を求めているんだな、ということが分かっただけでも勉強になりました。
- ・社会とつなぐために小学校教育課程を捉えるということは以前から自分の中に漠然と実践していきたいことであったように思うが、尾崎さんの取組みにその具体が見れたことはよかった。現在、担任を離れているが担任に戻ったときにはぜひ、活用したい。
- ・学校と社会や地域、現在から未来へつながる授業作りは、キャリア教育、SDGs等の柱となっていく、まさにこれから必要とされる教育の中核を担ってくださると思います。子どもたちが、学びの意味を見出し、より主体的な学びへと向かうことになると思います。

3. 本日の話を聞いて、今後、授業で尾崎さんとやってみたい取組があれば記入してください。

- ・オンラインで国際交流
- ・職業体験などの、他の学校とも交流できる授業を小学校でも行いたい。
- ・特支の子たちも楽しんで参加出来る取組み。
- ・地域を盛り上げるプロジェクト
- ・SDGs、ジェンダー
- ・それぞれの学校や先生方が苦勞して形にされたフォーマットをどの学校でも活用できるように市全体の取組みとして広げてほしい。
- ・現在通級指導を担当していますが、自己理解や自己肯定感は通級で最も大切にしたいところです。自分の特性をどう肯定的に捉えて、どう未来に繋げていくのか、そのアイデアを一緒に考えていただけたらありがたいです。
- ・児童らの自己肯定感を醸成するキャリア教育

4. 今後、市教委主催の研修で実施してほしい内容がありましたら、ご記入ください。

- ・ICT研修、プログラミング研修
- ・他校との交流(教員も含め)を深める取組み。
- ・働き方改革について。ライフワークバランスについて。スーパーマンやスーパーウーマンだけではなく、誰もが実践できる実践例。
- ・働き方改革で現場ができることについての研修
- ・生駒の地域の歴史
- ・専科教育導入とカリキュラムマネジメント

5. 「令和4年度 生駒市教育研修会」アンケート結果の検証

- ・今回の研修会の参加者のうち、91.8%が今回の研修会は「とても良い」「良い」と回答している。研修の内容が、教員のニーズに合ったもので、講演を聞いたことで、授業でのアイデアが浮かんだりや刺激を受けた教員が多かったことが理由であると思われる。
- ・研修が授業実践で役にたつかという問いに関しては、80%が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答している。キャリア教育、職業体験、普段の授業などで取り組めそうな内容が多かったため、2学期実践に取り入れられるヒントが見つかったことが伺える。
- ・市教委としては、これからも ICT を効果的に活用した授業づくり・授業改善の研修を続けていくことで、主体的・対話的で深い学びの実践につながっていくと考える。

生駒市熱中症予防対策研修会 実績報告書

【日時】令和4年8月16日(火)14:00~16:00

【場所】生駒市北コミュニティセンター はばたきホール

【講師】大阪国際大学 名誉教授 井上 芳光 氏

【参加者】226名(小学校137名、中学校71名、幼稚園保育園16、保護者2)

【テーマ】子どもの暑熱反応特性と熱中症予防策

【ねらい】平成28年8月16日、生駒市立中学校において、運動部活動中に熱中症により男子生徒が救急搬送され、その後亡くなるという重大事故が発生した。生駒市では、二度とこのような事故を起こさないよう、そして事故を忘れないよう8月16日を「安全を確認する日」とし、生駒市教職員全員で、熱中症予防と対策について理解と見識を深める。

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について(166件)

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4あまり良くない	5 良くない
	36.1%	54.2%	9%	0%	0.6%

◆ 主なご意見

- ・この日に、改めて考え、具体的な知識を得ることができてよかった。
- ・科学的実験試料に基づく説明で、メカニズムが分かり原因と対策を学ぶことができた。
- ・汗をかくメカニズムや子どもと大人の違いについて知れてよかった。
- ・児童に説明できるような科学的な裏付けが説明されていた。
- ・講師の方が最初におっしゃった、「化学的な知識を持ち教育をすすめていく。熱中症は怖がるものではないが、気をつけなければいけない」という言葉が印象に残りました。また、終始、講師ご自身の研究に基づいたお話はとても良かったです。
- ・子どもはよく汗をかいているので汗っかきと思っていたのですが、逆に汗をかけないと知って驚きでした。水を飲むのもきちんと汗をかくためだと知り、水分を補うだけでなく、汗をかいて体の熱を下げるためだとわかりました。体のメカニズムをきちんと理解して子ども達に指導するのも大切だと思いました。
- ・熱中症について、科学的に説明を聞いて良かった。子どもたちに「お茶を飲む」など指導や声掛けをしているが、「なぜか」という理由が理解できました。
- ・発汗が深部体温を下げる重要な役割をしているなど熱中症の特性やメカニズムが分かりました。

2. 本日の研修は、授業実践や生活の中で役に立ちますか。(166件)

	1 とても役に立つ	2 役に立つ	3 あまり役に立たない	4 役に立たない	5 分からない
	42.8%	56%	0.6%	0%	0.6%

◆ 主なご意見

- ・子どもは大人と比べて体温調節機能が発達しておらず、熱がこもりやすいことや暑い環境下での子どもの変化の違いなどを知ることができて、意識した上で対応できると思います。
- ・熱失神は、血圧が下がるから起こることで助かることもできることがわかった。熱射病になる前に気づくことが大切だということがわかった。子どもと大人では汗のかき方や暑さに対応する能力が違うとわかりました。尿の色から脱水がわかるは伝えていきたいと思った。
- ・運動部の指導をしてますので、科学的裏付けがあると、理論的に考えることができ、自信を持っての声かけが可能になる。
- ・教員が日頃から気をつけるべき点についてのお話があったのが良かった。
- ・部活動の指導の際に、今日の研修内容を活かしていける。
- ・熱中症にならないように体温上昇を防ぐような工夫をしたり、部活指導の中で生徒の健康管理に役立つと考えたからです。
- ・本当に暑い時に注意するだけではなく、年間を通して熱中症を防ぐ身体作りを考えていかないということ。それを念頭において子ども達と過ごしていこうと思いました。
- ・熱中症に至る原因などを詳しく知れたことによって、子どもたちの様子を見る判断材料がとても増えたと思う。また熱中症になってからのことだけではなく、熱中症にならないための体作りのことも知れたので、普段の保育に活かしていきたいと思う。
- ・事故を知らない職員が市内で少しずつ増える中、絶対に風化させてはならないことです。いろいろな視点からアプローチし続けることは大切だと思います。

3. 熱中症対策で困っていること。

- ・コロナ禍でマスクをなかなか外せないこと。またこの段階で救急車を呼ぶかどうかについていつも悩みます。
- ・水分補給を促しても、飲みたがらない子供がいること。
- ・部活動の練習の時、マスクを外させるべきかどうかを悩んでしまう。
- ・子どもが持参しているお茶の量にも限りがある。毎日持ってくるものが多い。
- ・保護者から「スポーツドリンク」の要望があるが、実際に普段の活動の中で必要かどうかはわからず、学校内でも意見が別れていること。ただ、要望があれば断りづらい。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策とのバランス。
- ・個人の体力差が大きく、どうしても安全を優先して、運動をしている児童にとっては強度の軽い運動になってしまう子どもがしんどいと訴えたときの対応がまだわかりません。見るからに熱中症気味の子どもであればすぐに対応するのですが、少し運動をするとすぐにしんどそうにする子どもを休ませていると体力もつかずに周りの子どもとの実力も開いてしまうため声掛けの基準が難しいです。
- ・子どもがしんどいと訴えたときの対応がまだわかりません。見るからに熱中症気味の子どもであればすぐに対応するのですが、少し運動をするとすぐにしんどそうにする子どもを休ませていると体力もつかずに周りの子どもとの実力も開いてしまうため声掛けの基準が難しいです。
- ・こまめに水分や休憩をしていても個人差で体調不良になってしまうことがあります。子ども自身が自己申告をしてくれる場合は、すぐに休憩などの対処もできますが、がんばってしまう子供について、より具体的に、子どもの様子で気にかけておいたら良いことがあれば幸いです。

今後、市教委主催の研修で実施してほしい内容。

- ・食育教育
- ・教師の働き方改革
- ・クレーム対策
- ・各教科の指導実践
- ・特別支援教育、他校種との連携
- ・LGBTQ
- ・保護者対応
- ・情報セキュリティ
- ・ICT 研修
- ・起立性調節障害
- ・性教育

生駒市教育委員会主催研修会

小学校外国語 授業づくり研修会 実績報告書

【日 時】令和4年7月27日（水）9：30～12：00

【場 所】生駒市コミュニティーセンター 402-403

【講 師】奈良県教育委員会事務局学ぶ力はぐくみ課 指導主事 松本彩恵

【参加者】23名（小学校22名 中学校1名）

【テーマ】言語活動を中心とした授業づくりについて

【ねらい】令和2年度より小学校で新学習指導要領が全面実施となった。また、令和3年度より中学校で新学習指導要領が全面実施となり、小学校での教科としての英語学習を大前提としたスタートに切り替わった。子どもたちが中学校での学習をスムーズに進められるよう、小学校でも英語に慣れ親しむだけでなく、基礎知識の定着が必要とされている。今回の研修では、小中の学習指導要領の目標にある「言語活動」について、授業の中でどのように取り入れていけばよいか、講和やグループ討議を通して、教員の理解を深める。

【コロナウイルス感染予防対策】

- ・席の間隔を十分開ける
- ・参加者のマスクの着用及び手指消毒、換気の徹底
- ・参加者の座席把握（座席指定）

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4 あまり良くない	5 良くない
前半	15	7	1	0	0

- ・「言語活動」が何か、外国語の授業ではどんなことを意識して授業づくりをすればよいのかということが分かりやすかったです。
- ・みんなで話し合っ、より具体的な案を出し合えたので、実態に合ったものを考えることができました。
- ・具体的にどんなことをしていけばいいか、明確になりました。
- ・この一学期、「言語活動」を意識せずに指導していましたが、外国語でも大切なんだと痛感しました。
- ・外国語の指導案の書き方について、今まで知らない点が多くあったので、作り方を知ることができてとても良かったです。
- ・授業づくりの視点・ポイント・注意点がよくわかった。
- ・指導案の目標の書き方などを知ることができてよかった。
- ・言語活動を中心として、授業づくりをしたことで、どうしたら取り入れることができるのか

考えることができた。言語活動をセットで考えたことがなかったので、新しい授業づくりの視点を知ることができてよかったです。

- ・他校の先生と授業検討できてよかった。
- ・単元の組み立てを実際に考えてみたのが、プラクティカルで良かったです。
- ・指導案を考えていくという設定は、こういう研修ではめずらしいので、よい機会となった。
- ・授業づくりについて、言語活動を通してすることの意義がよくわかりました。

2. 本日の研修の内容は、授業づくり、子どもたちへの指導等に役立ちますか

	1とても役立つ	2役に立つ	3あまり役立たない	4役に立たない	5わからない
全体	14	9	0	0	0

- ・他の学校の実践を聞く機会があったので、授業づくり（特に活動の方法）について新しく知ることができました。
- ・先生方の授業の作り方の話が聞いて勉強になりました。
- ・小中の先生方と交流でき、担当学年だけでなくほかの学年とのつながりをより意識して指導ができそうです。
- ・難しい單元でしたが、いろいろな指導案がでてきて、新しいことを知ることができました。
- ・必然性や何のためにするのかを考えて授業づくりをしようと思いました。
- ・言語活動や目標の立て方などぼんやりしていたものが、明確になったものがあり良かった。
- ・小学校の教科横断的で多面的な授業の構成にとっても驚き、勉強になりました。
- ・相手と一言と言っても、先生なのか友達なのか年下なのかなど意識して考えたことがなかったもので、レsspランを立てるときに気をつけようと思いました。

3. 日頃の外国語活動、外国語の授業で困っておられることがあれば具体的にご記入ください。また、本日の研修に関しての感想やご意見などがありましたら、ご記入ください。

- ・活動内容が同じものばかりになってしまうのが難しいです。
- ・外国語の授業に自分が苦手意識を持っています。今日の研修でまた自分でも研修を重ねたいと思いました。
- ・教科書の流れが、単元の最後に発表することになっているので、教科書に沿うと偏ってしまわないのかと思いました。
- ・自分の英語力がなくても、学習者としての見本を見せようと思いました。
- ・必然性を常に設定することは難しい。
- ・デジタル教材があることで授業が進めやすくなっている。
- ・教材研究は難しいことがある。何を目標として、どこまで学ぶ必要があるのかなどをしっかりと学んでいきたいです。
- ・ALTやわくわくイングリッシュの先生方との連携が難しいです。担任とALTが打ち合わせをするのですが、学年の中でもずれが生じ、難しい状況です。
- ・ゴールの活動をスピーチやプレゼンテーションに設定すると、準備に時間がかかり、時間のねん出に苦勞する。子どもが言いたいと思ったことをいかに簡単なボキャブラリーで言わせるかが難しい。

生駒市英語教育小中連携会議 実績報告書

【日 時】令和4年7月27日（水）13：30～16：00

【場 所】生駒市コミュニティーセンター 402-403

【参加者】27名（小学校17名 中学校10名）

【テーマ】前半 全体会 持続可能な小中連携を目指して

後半 中学校区別交流会 情報交換及び令和4年度小中連携計画について

【ねらい】令和2年度より小学校で新学習指導要領が全面実施となった。また、令和3年度より中学校で新学習指導要領が全面実施となり、小学校での教科としての英語学習を大前提としたスタートに切り替わった。子どもたちが中学校での学習をスムーズに進められるよう、小学校教員は中学校入学までに身に付けておくべき力について明確に意識しながら授業を計画することが必要ある。また中学校教員は、小学校での取組内容についての的確に把握し、小学校での学びを活かせる授業を計画しなければならない。当会議においては、小中それぞれの新学習指導要領の内容を確認すると同時に、中学校区ごとの現状を具体的に報告しあい、持続可能な小中連携を目指して小中連携計画をたてる。

【コロナウイルス感染予防対策】

- ・席の間隔を十分開ける
- ・参加者のマスクの着用及び手指消毒、換気の徹底
- ・参加者の座席把握（座席指定）

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4 あまり良くない	5 良くない
全体	17	9	1	0	0

- ・普段なかなかお会いできない中学校区の先生方と交流できてよかった。（小）
- ・小中で有意義な情報交換、話し合いができた。（小）
- ・中学校と連携することの大切さを知ることができた。（小）
- ・CAN-DO リストがあるが、あまり中身を考えたことがなかったので見直しが必要だと感じた。（中）
- ・小中連携の在り方は、そのまま生徒たちの英語の力につながるものなので、今日の研修はとても実りのあるものでした。（中）
- ・小学校の英語指導の実態を知ることができ、自分の授業の内容を見直す機会となった。（中）
- ・小学校での英語教育において、各年度の授業時数の差については、今まで詳しく知らなかったことだったので、今回の講習で教えていただき、その差をふまえて授業内容や指導法を変

えていかなければならないと感じました。(中)

- ・中1の指導内容を具体的に知ることができたことが特によかった。(小)
- ・中学校や他校との交流に向けて、具体的に日程を決められたので、そこへ向けて、夏休みの間に計画や準備、研修を少しでも進めようと思います。(小)

2. 本日の研修の内容は、授業づくり、子どもたちへの指導等に役立ちますか

	1とても役立つ	2役に立つ	3あまり役立たない	4役に立たない	5わからない
全体	18	8	0	0	1

- ・中学校でされている授業の話が聞けて、来年度入学する現小6の子たちにどのような力をつけてやるべきかを考えることができた。(小)
- ・CAN-DO リストの活用については全くできていなかった。公表・把握に向けて、夏の間に見直したい。(小)
- ・中学校区でのクラスルームを作成したので、これから情報交換を進めて、子どもたちの指導に生かしていきたい。(小)
- ・中学校の教師が小学校で授業を試みるのもいいと思いました。(中)
- ・具体的な教材を見せていただいて、中学校での教材のヒントにもなりました。(中)
- ・小学校の先生方がどういう授業をされているのか、どういうところで困っておられるかが知れたのがとても大きいです。自分の思っていたところと実際とでかなりのギャップがあったことを知ることができただけでも良かったです。(中)
- ・言語活動を意識した授業づくり(小中で連携した)を目指すことで、外国語の授業をわかる子どもたちを育てていくことができると感じた。(小)
- ・中学校を意識して、アルファベットやフォニックスの指導をしっかりとっていきたい。(小)
- ・単語の書き取りについてと小中連携について前向きな話し合いができた。(小)

3. 日頃の外国語活動、外国語の授業で困っておられることがあれば具体的にご記入ください。また、本日の会議に関しての感想やご意見などがありましたら、ご記入ください。

- ・小中の連携が必要だと感じた。子どもの英語力向上のためにこれからも中学校の先生と話をしていきたい。(小)
- ・学校独自の年間指導計画や Can-Do リストはなかったので、「生駒市英語教育カリキュラム」や小中連携の進め方を知ることができて良かった。(中)
- ・小6と中1のギャップが大きい。中1の初期にあまりにもたくさんの単語がでてくるのでその扱いに困っています。今後も小学校との連携を進めていき、情報を共有していきたい。(中)
- ・教材研究、授業準備、フィードバックにとっても時間がかかってしまう。(中)
- ・小学校の実態を踏まえて、授業展開をしていかないといけないと感じました。(中)
- ・書くことの指導が難しい。(中)
- ・1年生の学習内容、項目が多く、なかなか思うように進まない担当学年の教師から聞いている。文法事項や長文指導など日々の授業でどのように指導されているのか他学校の取組を知る機会があれば幸いです。(中)
- ・小学校だと英語担当が毎年変わることもあるので、生駒市が発信しているカリキュラムなども知らないことが多く、うまく活用できていない。(小)

○ 令和4年度生駒市教育委員会主催夏期研修会の総括

- ・ 「学校と社会、今と未来をつなぐ授業の作り方」をテーマに、キャリア教育プランナーとしてどのような授業を教員と一緒に作り上げてきたのかという内容で、生駒市キャリア教育プランナーの尾崎えり子さんの講演を行った。様々な実践に基づく講演で小中学校の先生方に大変好評であった。
- ・ 生駒市熱中症予防対策研修会では、大阪国際大学の井上芳光氏に「子どもの暑熱反応特性と熱中症予防策」について、実証データに基づく熱中症発症のメカニズムと予防策について講演いただき、保幼小中の先生方から熱中症の仕組みを知ること、どうして水分補給が必要なのかを、児童生徒に説明することができ、予防することができるかと大変好評であった。
- ・ 特別支援教育コーディネーター研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で奈良西養護学校の見学は中止となった。
- ・ 小学校外国語授業づくり研修では、奈良県教育委員会事務局学ぶ力はぐくみ課の松本彩恵指導主事に「言語活動を中心とした授業づくりについて」という題で、前半は「言語活動とは何か」について講義を受け、後半は言語活動を取り入れた授業案検討をグループで行った。先生方からは、授業づくりの視点・ポイントなどがよくわかり、実践交流もできてよかったと大変好評であった。
- ・ 生駒市英語小中連携会議では、中学校区ごとの教員交流を通して、現状と課題を共有し、子どもたちのスムーズな学びの接続のために持続可能な小中連携を考えてもらった。2学期以降にそれぞれの中学校区の計画を実現できるようサポートし、実践をまとめて来年度に活かしていきたい。

○ 次年度に向けて

- ・ 熱中症予防対策研修会は、例年8月16日の「安全を確認する日」に開催してきたが、熱中症が起こり始める前に開催する方が望ましいと考える。「安全を確認する日」の周知はこれまで通り行うが、日程や方法については検討をしていく必要がある。
- ・ オンラインで行えるものはオンラインを活用した研修も検討していく。
- ・ ICT活用研修など平日に行える研修は、本年度同様平日に行う。

